【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和4年1月12日(2022.1.12)

【公開番号】特開2020-104264(P2020-104264A)
【公開日】令和2年7月9日(2020.7.9)
【年通号数】公開・登録公報2020-027
【出願番号】特願2018-241975(P2018-241975)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/175(2006.01)
Ｂ０５Ｃ　5/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　2/175５０１
Ｂ０５Ｃ　5/00　１０１

【手続補正書】
【提出日】令和3年12月24日(2021.12.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１面を有する基体に、
液体が供給される供給口を有する第１流路と、
前記第１面に形成され、液体を貯留する液体貯留室と、
前記液体貯留室の液体を排出する排出口を有する第２流路と、
前記液体貯留室の圧力に応じて前記第１流路から前記液体貯留室に液体を供給する供給制御機構とが設けられ、
前記供給口は、前記基体において前記供給制御機構からみて前記第１面とは反対側の第２面または前記第１面に交差する側面に形成されることを特徴とする流路構造体。
【請求項２】
前記供給口は、前記基体における前記第２面に形成されることを特徴とする請求項１の流路構造体。
【請求項３】
前記排出口は、前記基体における前記第２面に形成されることを特徴とする請求項２の流路構造体。
【請求項４】
前記供給口は、前記第１面に垂直な方向からみて前記液体貯留室に重なる位置に形成されることを特徴とする請求項２又は３の流路構造体。
【請求項５】
前記供給口は、前記基体における前記側面に形成されることを特徴とする請求項１の流路構造体。
【請求項６】
前記排出口は、前記基体における前記側面に形成されることを特徴とする請求項５の流路構造体。
【請求項７】
前記第１流路の少なくとも一部は、前記第１面に垂直な方向からみて前記供給制御機構と前記第２流路との間に位置することを特徴とする請求項１から請求項６の何れかの流路構

造体。
【請求項８】
前記第１流路の全部は、前記第１面に垂直な方向からみて前記供給制御機構と前記第２流路との間に位置することを特徴とする請求項１から請求項４の何れかの流路構造体。
【請求項９】
前記第１流路は、前記供給制御機構が配置された供給制御室からみて第２流路側から当該供給制御室に連通することを特徴とする請求項１から請求項８の何れかの流路構造体。
【請求項１０】
第１面を有する基体に、
液体が供給される供給口を有する第１流路と、
前記第１面に形成され、液体を貯留する液体貯留室と、
前記液体貯留室の液体を排出する排出口を有する第２流路と、
前記液体貯留室の圧力に応じて前記第１流路から前記液体貯留室に液体を供給する供給制御機構とが設けられ、
前記供給口は、前記第１面に垂直な方向からみて前記液体貯留室に重なる位置に形成されることを特徴とする流路構造体。
【請求項１１】
前記第１流路の全部は、前記第１面に垂直な方向からみて前記液体貯留室に重なる、
ことを特徴とする請求項１０の流路構造体。
【請求項１２】
前記基体は、前記第１面とは反対側の第２面を有し、
前記供給口は、前記基体の前記第２面に形成され、
前記第２面は、前記基体の外壁の一部である、
ことを特徴とする請求項１０又は１１の流路構造体。
【請求項１３】
前記第１流路および前記第２流路は、前記第１面に垂直な方向からみて前記供給制御機構に対して同じ側に配置されていることを特徴とする請求項１０から請求項１２の何れかの流路構造体。
【請求項１４】
前記第１流路の途中に、内部にフィルターが設置されたフィルター室が形成されていることを特徴とする請求項１から請求項１３の何れかの流路構造体。
【請求項１５】
前記フィルター室は、前記第１面に垂直な方向からみて前記液体貯留室に重なることを特徴とする請求項１４の流路構造体。
【請求項１６】
請求項１から請求項１５の何れかの流路構造体と、
前記流路構造体から供給される液体を吐出する液体吐出ヘッドとを具備することを特徴とする液体吐出ユニット。
【請求項１７】
請求項１～１５の何れかの流路構造体と、
前記流路構造体から供給される液体を吐出する液体吐出ヘッドと、
前記液体吐出ヘッドを制御する制御部とを具備することを特徴とする液体吐出装置。